

みんなで挑戦!

ゼロカーボンシティ旭川 Vol.5

安心して暮らせる豊かな地球環境を守るため、私たちが抱える環境問題の解決に向けた市の取り組みを紹介します。

【詳細】環境総務課 電話25・5350



ゼロカーボンシティって?

2050年までに、二酸化炭素の排出量を実質ゼロを目指すことを目指す地方自治体です。旭川市は令和3年10月に表明し、脱炭素社会の実現に向けて、積極的に取り組んでいます

12/21 大有小学校で出前講座を実施しました

大有小学校で「地球温暖化対策と省エネルギー出前講座」を実施し、小学5年生約50人が参加しました。子供たちは、地球温暖化のメカニズムと原因、地球温暖化対策を学び、出題されたクイズにも積極的に手を挙げて答えていました。また、冬休み期間中に取り組んでほしい節電などの省エネも、日頃から実践しているようでした。

毎日使っている照明やテレビ、冷蔵庫、ストーブなどで必要以上に電気や灯油を使い過ぎると、二酸化炭素がどんどん増えて地球温暖化が進んでしまいます。節約できるところは節約し、地球温暖化を防ぎましょう。



環境について一緒に考えてみませんか?

- 環境学習に関する出前講座
 - 環境アドバイザーの派遣
- 【詳細】環境総務課 電話25・5350



11/30

グリーンアンバサダー活動報告

上川調査設計協会 創立20周年記念特別講演会

旭川グリーンアンバサダー
よしだ こなつ
吉田小夏さん



上川調査設計協会創立20周年記念特別講演会が開催され、「世界からみた日本の環境問題」をテーマに講演をしました。水不足や水質汚染の影響を大きく受けている貧しい国の現状、インフラや教育の必要性などをお話ししました。こうした課題に対して、旭川市では清らかな水で豊かな水の保全に努めるなど、SDGsの推進に今後も取り組んでいきます。当日は約300人が講演を聞いてくださり、旭川市だけでなく日本や世界の未来を思う大切な時間になりました。



雪かきの後のお風呂が気持ちいい時期になりましたね。シャワーを浴びる時間を3分短くすると、約36ℓの水を節約できます。一人一人が工夫をしながら、一緒に寒い冬を乗り越えましょう!

エコ活!

かんたん省エネ始めましょう 家計も地球も助かります

- 冬の暖房は室温設定20℃が省エネの決め手

市では暖房使用時の室温を20℃に設定することを推奨しています。FF式石油ストーブの設定温度を22℃から2℃下げて20℃にすると、年間で灯油35.5ℓの省エネになります。



- 部屋着を工夫して体感温度を上げる

- カーディガン +2.2℃
- 膝掛け +2.5℃
- 靴下 +0.6℃



- カーテンは厚手で、床に届くサイズを使用

- 外出や就寝の15分前には暖房を切る

- 加湿器を活用して体感温度を上げる

